

令和7年度 滋賀支部保険者機能強化予算（案）

令和7年1月17日



全国健康保険協会 滋賀支部
協会けんぽ

令和 7 年度 滋賀支部保険者機能強化予算（案）

支部保険者機能強化等予算（総括表）

●一般枠予算

（単位：千円）

		令和7年度		参考：令和6年度予算
予算区分	分野	予算(案)	予算枠	
支部医療費適正化等予算	医療費適正化対策経費	1,960	10,363	2,041
	広報・意見発信経費	8,403		8,322
	合 計	10,363		10,363
支部保健事業予算	健診経費	17,093	34,128	19,656
	保健指導経費	1,285		1,398
	重症化予防経費	1,144		425
	コラボヘルス経費	14,101		12,151
	その他の経費	505		498
	合 計	34,128		34,128

●特別枠予算

		令和7年度		参考：令和6年度予算
予算区分	分野	予算(案)	予算枠	
支部医療費適正化等予算	(特別枠)医療費適正化	1,562	2,560	0
支部保健事業予算	(特別枠)保健事業	798	8,440	0

滋賀支部の課題・重点施策について

令和6年10月18日(金)
全国健康保険協会滋賀支部
評議会資料

課題 ①	◎特定保健指導実施率が全国下位となっており、生活習慣病リスク保持者へのアプローチが不十分な状況にある。特に初回面談の実施率が全国下位となっており、直近では実績評価の実施率も低下している。 特定保健指導（被保険者） 【2023年度 KPI 38.0% 実績（初回面談）20.0%（全国 40位）、（実績評価）17.1%（全国 37位）】 【2022年度 KPI 34.5% 実績（初回面談）20.4%（全国 38位）、（実績評価）19.1%（全国 27位）】 【2021年度 KPI 28.5% 実績（初回面談）20.8%（全国 35位）、（実績評価）18.6%（全国 27位）】
課題 ②	◎診療時間外受診が多い ・加入者1人当たりの診療時間外受診の算定回数が全国平均より多い。 ・初診より再診の診療時間外受診が多く、緊急ではないケースが含まれると考えられる。 【2023年度 地域差指数-1】 初診 0.138（全国 41位） ・ 再診 0.386（全国 43位） 【2022年度 地域差指数-1】 初診 0.239（全国 43位） ・ 再診 0.366（全国 42位） 【2021年度 地域差指数-1】 初診 0.228（全国 42位） ・ 再診 0.367（全国 42位）
課題 ③	◎健診時の問診結果において、睡眠で休養が取れていない者の割合が高く、全国下位となっている。 ・「睡眠で休養が取れていない者」の割合が男女とも全国平均より高い。直近3年間の割合も上昇傾向にある。 男性 【2023年度 39.2%（全国 40位）】 女性 【2023年度 45.5%（全国 42位）】 【2022年度 38.6%（全国 40位）】 【2022年度 44.5%（全国 43位）】 【2021年度 38.0%（全国 40位）】 【2021年度 43.5%（全国 43位）】 ・2023年度の滋賀支部の一人当たり医療費において、「精神及び行動の障害」の疾病の寄与度がプラスになっており、メンタル疾患が増加していることが伺える。
課題 ④	◎滋賀支部加入者の一人当たり医療費について、「新生物」が最も高くなっており、年々上昇傾向にある。 男性では「大腸がん」、女性では「乳がん、子宮がん」の伸びが大きくなっている。 【2023年度 新生物一人当たり医療費 27,246円（前年比 105.6%）】 【2022年度 新生物一人当たり医療費 25,806円（前年比 104.9%）】 【2021年度 新生物一人当たり医療費 24,589円（前年比 101.9%）】
課題 ⑤	◎国が設定した後発医薬品の新目標である、2029年度末までに「バイオシミラーが80%以上ある成分数が全体の成分数の60%以上」とする目標に対し、滋賀支部の2022年度の実績では、80%以上の成分は2成分（12.5%）にとどまっている。

●特別枠予算事業（案）

①医療費適正化事業

事業名	新生物にかかる医療費適正化に向けた取組
実施概要	・新生物にかかる1人当たり医療費(年齢調整済)は、全国平均を上回る水準が続いている。 ・令和5年度の新生物の医療費を性別に分けてみると、女性では、乳房及び子宮の悪性新生物の医療費が新生物全体の医療費の約27%を占める。加えて、平成30年度から比較するとそれぞれ約20%、約34%の高い伸び率を示している。男性では、腸の悪性新生物が新生物全体の医療費の約13%を占めている。30年度から比較すると約13.8%と全国平均4.7%と比較して高い伸びを示している。 ・これらの新生物について、早期発見及び早期治療を行うことにより、中長期的な医療費抑制する。具体的な事業案は以下のとおり。 ①令和7年度偶数年齢の女性のうち、令和5・3年度に乳がん・子宮頸がん検診を受診していない者(令和4年4月1日資格取得の場合は、5年度のみ)に対して、検診の受診勧奨を行う。 ②令和7年度乳がん・子宮頸がん・大腸がん(男性のみ)の検診結果が要精密検査又は要治療の者に対して、医療機関受診勧奨を行う。なお、令和6年度にこれらのがん検診に関連する傷病名が記載されたレセプトがある者を除く。
実施時期	①令和7年7月(下期受診予定者)、②令和7年7月以降
期待される効果	①乳がん・子宮頸がん検診の受診率の向上 ②早期治療による中長期的な医療費の抑制
評価指標・評価方法等	①受診勧奨を行っていない上期受診者との受診率の比較 ②前年度の要精密検査・要治療者の受診率との比較
予算額	1,562千円

②保健事業

事業名	特定保健指導対象者向け健診前勧奨
実施概要	・令和5年度生活習慣病予防健診受診者のうち血糖リスクがある又は血圧・脂質リスクが両方ある者において、BMI:22以上、腹囲:男性83-88cm 女性88-93cm、年齢:70歳未満(60歳未満)の基準に該当する者に対し、生活習慣病改善案内を令和5年受診月の3か月前の月に送付する。
実施時期	令和7年7月
期待される効果	①特定保健指導対象者の減少 ②特定保健指導の実施率向上
評価指標・評価方法等	①令和7年下期受診者と、同基準に該当する上期受診者を比較し、効果測定を行う。 ②生活習慣病改善案内に二次コードを添付し通知内容や生活習慣にかかるアンケートを行う。
予算額	798千円

●一般枠予算事業（案）

①支部医療費適正化等予算

（単位：千円）

分野	区分	事業名	経費
医療費適正化対策経費	企画部門	【継続】医療機関に対するジェネリック医薬品使用状況等の情報提供サービス	614
		【継続】上手な医療のかかり方に関する通知書の送付	814
	業務部門	【継続】健康保険委員の拡大に向けた広報物の作成及び電話勧奨業務委託	532
	小 計		1,960
広報・意見発信経費	紙媒体による広報	【継続】納入告知書に同封する広報誌「協会けんぽしが」	1,595
		【継続】協会けんぽガイドブックの印刷	879
		【継続】協会けんぽガイダンスの印刷	185
		【継続】地元紙への広告掲載	33
	その他の広報	【継続】メディア等を活用したインセンティブ制度および医療費適正化広報の実施	4,869
		【継続】子ども医療費等の適正化に向けたハンドブックの広報記事掲載	220
		【継続】上手な医療のかかり方に関する周知広報	396
		【継続】医療費適正化に係るポスターの作成	226
小 計		8,403	
合 計		10,363	

②支部保健事業予算

(単位：千円)

分野	区分	事業名	経費
健診経費	事業者健診の結果データ取得	【継続】紙媒体で提供された事業者健診結果のパンチ業務委託等	627
	集団健診	【継続】協会主催の集団健診の実施(被扶養者)	11,920
	健診受診勧奨等経費	【継続】健診受診勧奨(年次案内)	2,347
		【継続】健診未実施確認事業所への勧奨	296
		【継続】健診受診勧奨(DMと電話による勧奨)	1,903
	小計		
保健指導経費	保健指導利用勧奨経費	【継続】健康ファイルを活用した特定保健指導の書類管理及び満足度向上	385
	その他	【継続】中間評価時の血液検査費、パンフレット作成等	900
	小計		
重症化予防事業経費	未治療者受診勧奨	【継続】委託業者による受診勧奨	827
	重症化予防対策	【継続】糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	22
		【継続】ポスター作製	295
	小計		
コラボヘルス経費	コラボヘルス事業	【継続】健康測定機器の貸出	3,040
		【継続】健康づくり講座(健康教室)の実施	5,457
		【継続】健康づくりに関する好事例集の作成	1,107
		【継続】健康経営セミナーの開催	750
		【継続】健康アクション宣言事業所を対象とした健康情報誌の提供	1,009
		【継続】健康アクション宣言事業所の拡大に係る広報物の作成及び電話勧奨業務委託、並びに宣言事業所への事業所カルテ等発送業務委託	2,364
		【継続】事業所(業態別)カルテの作成	374
	小計		
その他の経費	その他の保健事業	【継続】自治体等との連携による健康行動の意識啓発(健康推進アプリBIWA-TEKUの運用)	275
		【継続】自治体(11市町)との連携による健診受診啓発(ラッピング電車・バス後部広告)	230
	小計		
合 計			34,128